

第12回 国際日本学シンポジウム 「都市・建築・空間の国際日本学」

|         |   |
|---------|---|
| 【日時】    | 平成22年(2010)7月3日(土)・4日(日)  |
| 【会場】    | お茶の水女子大学 共通講義棟2号館201号室<br>〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 Map<br>(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅下車徒歩5分)<br>※正門(東門)からお入り下さい。  |
| 【主催】    | お茶の水女子大学 比較日本学教育研究センター  |
| 【共催】    | 特別経費「女性リーダーを創出する国際拠点の形成」プログラム<br>フランス国立極東学院 (École française d'Extrême-Orient)  |
| 【使用言語】  | 日本語   |
| 【参加費】   | 資料代500円   |
| 【問合せ】   | 比較日本学教育研究センター<br><a href="http://www.cf.ocha.ac.jp/ccjs/">http://www.cf.ocha.ac.jp/ccjs/</a>  |
| 【プログラム】 | <p>7月3日(土) 13:00~17:00 共通講義棟2号館201号室</p> <p><b>セッションⅠ:</b></p> <p><b>都市・村落・住居・墓地の風水—史資料からみる風水の実態—</b><br/>東アジアの風水について、民俗資料と文字資料から日本本土・沖縄・中国の実態に迫る。</p> <p>〈挨拶〉 羽入 佐和子 (お茶の水女子大学学長)</p> <p>〈研究発表〉 司会: 宮内 貴久 (お茶の水女子大学大学院准教授)<br/>渡邊 欣雄 (中部大学教授)<br/>「都城風水概説」<br/>金澤 雄記 (飯田市歴史研究所研究員)<br/>「家相図と建築—飯田・下伊那地域の事例報告—」<br/>小熊 誠 (神奈川大学大学院教授)<br/>「沖縄の村落移動と風水」<br/>水口 拓寿 (東京大学大学院助教)<br/>「名墓の風水に『便乗』する者たち<br/>—中国寧波・東銭湖墓群の事例から—」</p> <p>★ ウェルカム・パーティー (17:30~19:00)<br/>ふるってご参加下さい。(無料)</p> <p>7月4日(日) 共通講義棟2号館201号室</p> <p><b>セッションⅡ:</b></p> <p><b>日本の建築空間と庭園—明治から20世紀初頭にかけての欧米におけるその受容と普及—</b></p> |

建築空間・庭園について、日本学の国際的視点から多角的に考察する

■ 午前の部 10:30～12:00

司会：ロール・シュワルツ＝アレナレス（お茶の水女子大学大学院准教授）

〈研究発表〉

ニコラ・フィエヴェ（フランス国立極東学招聘教授）

「日本庭園について英、仏語で出版された3冊の主要な書物」

田路 貴浩（京都大学大学院准教授）

「堀口捨己—オランダ建築と茶室—」

■ 午後の部 13:00～18:00

司会：秋山 光文（お茶の水女子大学大学院教授）

〈研究発表〉

ブノワ・ジャケ（フランス国立極東学院 京都支部部長）

「桂離宮とその庭園—1930年代における日本の近代性の発見—」

ケン・タダシ・オオシマ（ワシントン大学准教授）

「山田守と国際建築」

内山 尚子（お茶の水女子大学大学院生）

「イサム・ノグチの《ユネスコ庭園》をめぐる『日本庭園』の意味について」

ヨラ・グロアゲン（フランス国立高等研究実習院大学院生）

「アントニン・レーモンドの住宅建築における自然との関係の表現について

—夏の家（1933）—」

〈パネルディスカッション〉

司会： 元岡 展久（お茶の水女子大学大学院准教授）